

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床検査技師学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		血液検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		3年生		学期及び曜時限	通年 土曜日	教室名	901 902
担 当 教 員		重松 康之	実務経験とその関連資格	多根総合病院で臨床検査技師として勤務。主に採血、血液検査を担当			
《授業科目における学習内容》							
①血液中の有形成分の発生と分化を理解することで血液学の基礎を学習する。②血液検査法を学び、臨床的意義や検査データの見方・考え方を学習する。③血液疾患について病態を学び、医師の診断に寄与することを学習する。④止血についての基本的な知識を身につけ生体内での凝固・線溶についての基本的な知識を身につける。⑤凝固・線溶に関する疾患について学び、検査データーから病名・病態を導き出せる応用力を身につける。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験10割							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
血液検査学(医歯薬出版) 配布プリント							
《授業外における学習方法》							
配布資料を中心にノートをまとめる							
《履修に当たっての留意点》							
血液の基礎をしっかり復習し、国家試験問題等に対応できる知識を養う							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の造血と発生・分化および成分・分析について理解できるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノートをとる	
		各コマにおける授業予定	講義:血液の基礎、血球の発生と分化、成分分析				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の造血と発生・分化および成分・分析について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノートをとる	
		各コマにおける授業予定	講義:総合演習				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自動血球計数装置について理解できるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノートをとる	
		各コマにおける授業予定	講義:自動血球計数装置の原理				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	自動血球計数装置について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノートをとる	
		各コマにおける授業予定	講義:自動血球計数装置の問題点、総合演習				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球系の成熟過程を理解できるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノートをとる	
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の発生				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球系の成熟過程を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の構造、ヘモグロビン、総合演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球の形態異常、疾患(貧血、多血症)について理解できるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の形態、異常形態、赤血球に関する疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球の形態異常、疾患(貧血、多血症)について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:赤血球の形態、異常形態、赤血球に関する疾患、総合演習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球系の機能、形態および骨髄検査について理解できるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:白血球の機能、形態、異常形態および骨髄検査		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球系の機能、形態および骨髄検査について理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:白血球の機能、形態、異常形態および骨髄検査、総合演習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査を理解できるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:特殊染色、細胞表面抗原、染色体・遺伝子検査、総合演習		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(概要)を理解できるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患①、総合演習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(骨髄系)を理解できるようになる。	配布資料	配布資料を中心にノートをとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(骨髄系)		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	血液検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	通年 土曜日	教室名	901 902
担 当 教 員	重松 康之	実務経験と その関連資格	多根総合病院で臨床検査技師として勤務。主に採血、血液検査を担当			
《授業科目における学習内容》						
①血液中の有形成分の発生と分化を理解することで血液学の基礎を学習する。②血液検査法を学び、臨床的意義や検査データの見方・考え方を学習する。③血液疾患について病態を学び、医師の診断に寄与することを学習する。④止血についての基本的な知識を身につけ生体内での凝固・線溶についての基本的な知識を身につける。⑤凝固・線溶に関する疾患について学び、検査データーから病名・病態を導き出せる応用力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験10割						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
血液検査学(医歯薬出版) 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布資料を中心にノートをまとめる						
《履修に当たっての留意点》						
血液の基礎をしっかりと復習し、国家試験問題等に対応できる知識を養う						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(骨髄系)を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノート をまとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(骨髄系)、総合演習			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系①)を理解できるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノート をまとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系)、ホジキンおよび非ホジキンリンパ腫			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系①)を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノート をまとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系)、ホジキンおよび非ホジキンリンパ腫、総合演習			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系②)を理解できるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノート をまとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系②)、多発性骨髄腫			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の疾患(リンパ系②)を理解できるようになる。問題を解き理解を深める事ができるようになる。		配布資料	配布資料を中心にノート をまとめる
		各コマにおける授業予定	講義:造血器の疾患(リンパ系②)、多発性骨髄腫、総合演習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	血小板の機能を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	1次止血と血小板機能		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	血小板の機能を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	1次止血と血小板機能(過去問)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固カスケードを説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	2次止血と凝固カスケード		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固カスケードを説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	2次止血と凝固カスケード(過去問)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固と制御機構の関係を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	血液凝固の制御機構		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	凝固と制御機構の関係を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	血液凝固の制御機構(過去問)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	線溶についての基礎を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	繊維素溶解(線溶)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	線溶についての基礎を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	繊維素溶解(線溶)(過去問)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次止血の検査を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	出血時間 血小板凝集能		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次止血の検査を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	出血時間 血小板凝集能(過去問)		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床検査技師学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		血液検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		3年生		学期及び曜時限	通年 土曜日	教室名	901 902
担 当 教 員		重松 康之	実務経験とその関連資格	多根総合病院で臨床検査技師として勤務。主に採血、血液検査を担当			
《授業科目における学習内容》							
①血液中の有形成分の発生と分化を理解することで血液学の基礎を学習する。②血液検査法を学び、臨床的意義や検査データの見方・考え方を学習する。③血液疾患について病態を学び、医師の診断に寄与することを学習する。④止血についての基本的な知識を身につけ生体内での凝固・線溶についての基本的な知識を身につける。⑤凝固・線溶に関する疾患について学び、検査データから病名・病態を導き出せる応用力を身につける。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験10割							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
血液検査学(医歯薬出版) 配布プリント							
《授業外における学習方法》							
配布資料を中心にノートをまとめる							
《履修に当たっての留意点》							
血液の基礎をしっかり復習し、国家試験問題等に対応できる知識を養う							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	分子マーカーと疾患の関係を説明できる		血液検査学(医歯薬出版)自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
		各コマにおける授業予定	分子マーカー				
第32回	講義形式	授業を通じての到達目標	分子マーカーと疾患の関係を説明できる		血液検査学(医歯薬出版)自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
		各コマにおける授業予定	分子マーカー(過去問)				
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	内因系検査の基礎を説明できる		血液検査学(医歯薬出版)自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
		各コマにおける授業予定	2次止血 血液凝固時間 Ca再加試験				
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	内因系検査の基礎を説明できる		血液検査学(医歯薬出版)自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
		各コマにおける授業予定	2次止血 血液凝固時間 Ca再加試験(過去問)				
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロトロンビン時間の手技を説明できる		血液検査学(医歯薬出版)自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください	
		各コマにおける授業予定	プロトロンビン時間				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロトロンビン時間の手技を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	プロトロンビン時間(過去問)		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	APTTの手技を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	活性化部分トロンボプラスチン時間		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	APTTの手技を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	活性化部分トロンボプラスチン時間(過去問)		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次止血の疾患を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	フォンヴィレブランド病 バルナールスーリエ症候群 血小板無力症 ストレージプール病		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次止血の疾患を説明できる	血液検査学 (医歯薬出版) 自作のプリント	配布プリントをしっかりと復習してください
		各コマにおける授業予定	応用問題		
第41回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第42回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第43回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第44回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第45回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			